

優良農家の紹介

縦型コンポによる牛糞処理

1. はじめに

宝塚市北部、西谷地区の酪農家3戸、和牛肥育農家2戸、乳肉複合経営農家2戸（飼養頭数合計、乳牛319頭、肉牛466頭）が、宝塚堆肥組合を結成し、縦型コンポと堆肥舎などを導入して、良質の堆肥づくりに取り組んでいる。

乳牛の糞は水分が高く、発酵エネルギーが低いため水分調整剤との混合、堆積やハウスでの乾燥処理などの処理方式が多い。しかし、オガクズなどの副資材の確保が困難なこと、ハウスでの悪臭問題、さらにO-157やクリプトスピリジウムなどの問題があるため、生糞をそのまま、処理することが出来る密閉型の処理施設への期待が大きい。

処理工程は、まず縦型コンポでは、さらに発酵効率をよくするためカロリーの高い発酵補助資材（廃白土：植物油を搾ってろ過、精製させる時のろ剤として使用した資材）を混合すると、7～10日で処理ができる。その後、堆肥舎で熟成させて、年間を通じて均質な有機質肥料を生産している。

2. 宝塚堆肥組合の活動の内容

1999年12月には、県堆きゅう肥共励会において、優良賞を受賞。2000年1月には、特殊肥料の生産と販売業務の届け出を行い、一般園芸愛好家などへの流通も可能になった。（兵特肥第528号、兵販肥第2573号）

従来から取り組んできた西谷地区での土づくりは、

1999年には、約27haに共同散布を行った。

また、袋詰め堆肥（35kg約15kg）は、市内を中心に8,540袋を販売し、好評を得ている。



3. 今後の取り組み

年間を通じて、良質な堆肥を生産し、地域内に供給していくためのハード面の整備はできた。

今後、組合の組織運営をより強化して、安定的な堆肥生産・供給を継続していくことが必要である。

廃白土や電気代などのランニングコストを押さえるため、既存施設での予乾や安価な水分調整資材の活用などを検討する必要がある。

樽本清明（宝塚普及センター）

表 堆肥分析結果

項目 採取日	PH (H ₂ O)	EC (1:5)	石灰 %	苦土 %	加里 %	リン酸 %	全窒素 %	全炭素 %	C/N	水分 %
	9.5	4.14	4.5	1.1	4.2	2.1	1.9	24.5	12.9	55.9

ひょうごの農業技術 No.110

平成12年7月1日（隔月刊）

1部250円（申込先・県立中央農業技術センター）

兵庫県立中央農業技術センター（0790）47-1117

兵庫県立北部農業技術センター（0796）74-1230

兵庫県立淡路農業技術センター（0799）42-4880